

JPDA 11月定例理事会議事録

日 時：平成30年11月14日（水）午後1時30分～午後7時10分

場 所：文京シビックセンター(区民会議室)

<13:30～17:00：5階 会議室A・17:45～19:10：3階 会議室C>

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

出席者：理事24名中20名（伊藤 透、井上 聡、青木（入江）あずさ、牛島志津子、畝野裕司、梅原 真、江藤正典、小川裕子、小川 亮、加藤（桑）和美、鈴木智晴、高田知之、竹内清高、中越 出、中森恭平、信藤洋二、藤田 隆、三原美奈子、森 孝幹、八木勇達）

監事2名中1名（時田秀久）

欠席届5名（加藤芳夫、小原 司、永田麻美、山崎 茂、池田 毅）

議事録署名人： 伊藤 透、井上 聡
時田秀久

議事の経過

定款第31条(議長)により伊藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者21名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が伊藤透理事長、井上聡副理事長、時田秀久監事の3氏であることを確認し、議事に入る。

(決裁事項の議案号数はゴシック。)

第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに、個人2人から入会申込みがあり、定款6条（会員資格の取得）並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の入会を承認した。

(1) 個人会員（2人）

<東日本>

1. 西塚 寛 (にしづか かん) 【推薦者：時田 秀久】

<西日本>

2. 細川 典一 (ほそかわ のりかず) 【推薦者：中村 拓也】

第2号議案 再入会員入会審査の件

本日の理事会までに、個人1人から再入会申込みがあり、定款6条（会員資格の取得）並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の再入会を承認した。

(1) 個人会員（1人）

＜中日本＞

1. 二口 幸弘（ふたくち ゆきひろ）

（中日本法人会員 朝日印刷株式会社の代表者を退くため個人会員として再入会）

第3号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届けを提出した個人会員3人、法人会員3社の退会を承認した。

(1) 個人会員（3人）

＜東日本＞

1. 古城 晴美（ふるき はるみ）【30年12月末退会希望】（自己都合により）

＜中日本＞

2. 原井 繁（はらい しげる）【30年11月末退会希望】（法人会員代表者入替わりのため。11月より中日本法人会員朝日印刷株式会社の代表となる。）

＜海 外＞

3. 平田 みか子（ひらた みかこ）【30年9月末退会希望】

（アリゾナに来てからパッケージの仕事に携わることがなくなったため）

(2) 法人会員（3社）

＜東日本＞

1. 株式会社フライングベル・カンパニー【30年11月末退会希望】

（パッケージデザインのみにとらわれない仕事になってしまったため）

＜西日本＞

2. 株式会社Sakae Plus（さかえぷらす）【30年9月末退会希望】（一身上の都合）
3. 日之出紙器工業株式会社（ひのでしきこうぎょう）【31年9月末退会希望】

（諸般の事情のため）

第4号議案 協会名義使用承認の件

本日の理事会までに下記5件の協会名義使用の依頼がありこれを承認した。

(1) 後援名義使用の依頼（3件）

1. 「IFFT/インテリア ライフスタイル リビング」(詳細：別紙)

【2018年11月14日～16日 東京ビッグサイト】

主催：メッセフランクフルトジャパン株式会社

2. 「Next Eco Design展 2018：TOKYO STYLE」(詳細：別紙)

【2018年12月6日～12月8日

東京ビッグサイトで開催されるエコプロ2018 に企画展ブースとして出展】

主催：公益社団法人 日本インダストリアルデザイナー協会

3. 「第58回 2019ジャパンパッケージングコンペティション」(詳細：別紙)

【募集期間：平成30年11月30日～平成31年1月23日】

【審査日・会場：平成31年2月1日 日本印刷会館】

【授賞式・会場：平成31年4月16日 如水会館】※

【展示会・会場：(東京)平成31年4月15日～17日 日本印刷会館展示場

(大阪)平成31年4月22日～26日 平和紙業(株)ペーパーボイス】

主催：一般社団法人日本印刷産業連合会

※後援名義使用と合わせて、JPDA賞の賞状交付と審査員の委嘱についての依頼も来ています。

(2) 協賛名義使用の依頼 (2件)

1. 「page 2 0 1 9」(詳細：別紙)

【2019年2月6日～8日 サンシャインコンベンションセンター東京】

主催：公益社団法人 日本印刷技術協会

2. 「第87回東京国際ナショナル・ギフトショー春2019」(詳細：別紙)

「東京国際ナショナル・ギフトショー春2019 第5回LIFE×DESIGN」

【2019年2月12日～2月15日 東京ビッグサイト全館】

主催：株式会社ビジネスガイド社

第5号議案 正副理事長報告

伊藤理事長、井上副理事長、加藤専務理事より、現状の活動状況について以下の報告があった。(加藤専務理事は欠席のため、渡邊事務局長が主な活動を代読)

伊藤理事長報告

- ・9/19 60周年展覧会打合せ
- ・9/20 東京デザイン会議打合せ
- ・9/25 コンペティション委員会、アスパックレセプション打合せ

- ・ 9/26 APD打合せ
- ・ 10/3 60周年展覧会打合せ
- ・ 10/4 東日本委員会
- ・ 10/6 第2回創作展「感じるパッケージ」オープニング
- ・ 10/10 P&Pギャラリー「現代日本のパッケージ展」オープニング
- ・ 10/13 アスパック国内決勝審査会
- ・ 10/19 東日本Talk Caféにファシリテーターとして登壇
- ・ 10/22 パッケージの未来 Takram×DICに参加
- ・ 10/23 東京デザイン会議打合せ
- ・ 10/24 60周年展覧会打合せ
- ・ 10/29 教育委員会ワークショップ冒頭挨拶
- ・ 11/1 アスパック今後の対応打合せ
- ・ 11/5 アスパックパートナーズサロンに出席
- ・ 11/6 東京デザイン会議会議場見学
- ・ 11/13 (一社) 空間デザイン協会贈賞式パーティー

井上副理事長報告

- ・ 9/14 デザイン保護セミナーに出席
- ・ 9/21 西日本勉強会②に出席
- ・ 9/26 APD・60周年デザイン会議2020打合せ
- ・ 10/6 第2回創作展オープニング（京都）に出席
- ・ 10/13 アスパック国内決勝審査会
- ・ 10/30 教育委員会ワークショップ・懇親会に出席
- ・ 11/1 アスパック今後の対応打合せ
- ・ 11/7 APD・60周年デザイン会議 開催候補地の調査・協議
- ・ 11/30 西日本勉強会（車木工房見学）に出席予定

加藤専務理事報告

- ・ 9/18 福島県農林水産部農産物物流課「福島プライド」打合せ
- ・ 9/19 60周年展覧会打合せ
- ・ 10/2 東京パックスレセプション
- ・ 10/3 // 、60周年展覧会打合せ
- ・ 10/4 出版委員会
- ・ 10/10 「現代日本のパッケージ展」オープニング ご挨拶
- ・ 10/14 「 // 」トークショー

- ・ 10/13 アスパック国内最終審査会
- ・ 10/24 60周年展覧会打合せ
- ・ 10/25 出版委員会
- ・ 11/1 アスパック今後の対応打合せ
- ・ 11/13～14 「おいしい東北」審査会

第6号議案 委員会報告（●は資料あり）

<承認事項>

●西日本（9月の勉強会②の結果報告と収支報告）

- ・ 三原理事より、資料に基づいて、9/21に開催された西日本勉強会 ここんVol.2「パッケージデザインのためのAdobeCCセミナー」の報告と、公益・法人会計の収支計算書についての報告があった。
- ・ 勉強会は参加費が無料で実践に役立つ内容だったこともあり一般からの出席も多く（全71名の出席者中18名）、キャンセル待ちになるほどの盛況だった。来年以降も同様の勉強会を定期的で開催しようという話が出ているとのこと。
- ・ 収支報告では、
公益会計：収入0円、協会補助 62,500円、支出 50,029円、収支差額+12,471円
法人会計：収入 92,000円、協会補助 0円、支出 92,000円、収支差額 0円
を承認した。

●東日本（9月のTalk Caféの結果報告と収支報告）

- ・ 竹内理事より、資料に基づいて、10/19に開催された東日本「Talk Café」についての活動報告と公益会計の収支報告があった。
- ・ 「Talk Café」は53名の参加（内会員49名、一般4名）を得て、新木場の倉庫といういままでにはなかった環境の中、『パッケージデザインの強さを探る』というテーマで、伊藤理事長をファシリテーターに20～40代の4名のデザイナーにそれぞれの考えを語っていただき大変盛り上がったトークショーだった。
- ・ 収支報告（公益会計）では、
収入：183,500円、協会補助：59,500円、支出：147,683円、収支差額：+95,317円
を承認した。

<報告事項>

●デザイン保護

- ・ 高田理事より、資料に基づき、以下の案内があった。

- ① JPDAのHPに9月～11月に公開したレポートページの内容紹介 (Vol. 105～107)
- ② 10/19に開催したデザイン保護セミナー「クリエイターのための知的財産の基礎」の結果報告 (参加者：会員40名、一般11名の計51名)
詳細はHPにアップしているので、そちらを参照いただきたいとのこと。
- ③ 11/6開催したフォント関連勉強会についての結果報告
(参加者：デザイン保護委員を中心に12名)
- ④ 2019/2/7に開催予定の2018第2回目のデザイン保護セミナーについて
なお、セミナー等の収支報告は第2回のセミナー終了後に年間をまとめて報告の予定。

● 展覧会

- ・西日本の中森理事より、資料に基づき、10/4～11の間、京都市の中心に位置する「しまだいギャラリー」で開催された第2回創作展『感じるパッケージデザイン展』の、オープニングパーティーを含めた結果報告があった。(出展者：100名、来場者：1,590名)
収支報告は東京展の終了後、2カ所全体の収支報告を行う予定。
- ・次に、小川裕子理事より、資料に基づいて、京都に引き続き12/18～30の間、渋谷ヒカリエで開催される東京展のオープニングパーティー（「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」のお二人の講演、参加者は100～120名が目標）についての案内があった。
なお、会員へは11月末にメールでオープニングパーティーの参加申込み書を送る予定。
- ・桑理事より、「チラシにはオープニングパーティーのことに触れていないが、一般の方の参加も受けるのか」という質問があったが、この質問に対しては、小川理事から、「チラシで案内すると予定以上に参加者が増えてしまう懸念があったので、あえて触れていないが、一般の方の参加も歓迎する」との回答があった。

● 西日本

- ・三原理事より、資料に基づき、11/30に実施予定で現在申込みを受け付け中の「車木工房探訪」についての案内があった。
- ・この工房は奈良の岡村印刷（株）の敷地内にあり、著名な作家のアトリエとして使われていて、普段はなかなか見学ができない場所であり、リトグラフやエッチング等印刷の原点を見ることができるとのこと。

● APD（アジアパッケージデザイン会議）+ デザイン会議

- ・井上副理事長より、資料に基づき、JPDA60周年にあたる2020年の秋に、関西で開催予定のAPD（テーマはCrossing）+デザイン会議に関し、現在まで関係者と協議してきた内容（開催時期、日程、体制等）について、進捗状況の説明があった。
- ・開催時期を2020年の11月第3週において、APDの会議、APDの展覧会、JPDAのデザイン会議、3つのイベントを、日程を2～3日間とおき、奈良県奈良市と滋賀県大津市の2方向での開催を検討しており（日程・開催場所候補の詳細は資料参照）、この12月まで

に開催場所と時期を決めたいとのこと。

- ・また、開催1年前の2019年10月25日（金）を予定日とし、10～15名の各国出席者が事前の確認を行う「代表者会議」を開くことを検討していく。
- ・デザイン会議はかなり大きなイベントであるため、西日本委員会だけではなく、関連する委員会（国際・国内交流、出版、コンペティション、インターネット、広報、事務局等）の応援をいただきたいとの提案があった。
- ・また、その中で主なイベントに関わる国際交流（APD会議）、国内交流（デザイン会議）と西日本委員会のメンバーで準備委員会を立ち上げ、全体の企画・運営（日程、開催場所、イベントスケジュール等）を早めに詰めていきたいとのこと。

<出席者からの意見・質問>

- ・APD会議とJPDAデザイン会議を別々に開催するのは準備等が輻輳するため、この二つを一緒にしたようなデザイン会議にした方が現実的だと思う。
- 一方で、井上さんから提案のあった関連委員会の応援と準備委員会の立ち上げは了解ということですのでよろしいですね。（伊藤理事長から出席役員に賛否を聞いた。）

※これについてはとくに異論は出ず、提案通りで進めることとなった。

- ・予算はどのように決めるのか？（桑理事）
- ・それぞれの委員会で予算を持つのではなく、60周年で積み立てている予算も考慮して全体で立案、管理していくことになる。（伊藤理事長）
- ・60周年記念の展覧会を印刷博物館で開催することが検討されていると聞いているが、それは予定通り行われるのか？（小川裕子理事）
- ・2020年の印刷博物館での展覧会は現在内容を検討中であり、予定通り開催されることになる。（伊藤理事長）

●中日本（北陸）（P.43）

- ・畝野理事より、資料に基づき、12/7（金）に金沢で開催する「Talk Café」についての案内があった。参加者は会員が10名程度と考えているが、学生は無料であることから、多くの参加が期待できるとのこと。

●東京デザイン会議＋新年交流会（国内交流＋東日本）

- ・桑理事より、すでに会員への発送を完了しているDMを回覧しながら、2019年1月25日（金）午後に開催予定の「Crossing創造性の交差」をテーマにした東京デザイン会議の案内があった。（内容は今週中に届く案内状を参照）

●コンペティション

- ・竹内理事より、資料に基づいて、以下の案内があった。

- ① 2019年1月31日に東京ガーデンパレスで開催される日本パッケージデザイン大賞贈賞式の概要

- ② 応募者に対し入選・入賞の連絡をした後、例年になく大賞ロゴの使用に関する問い合わせの多かったことから新たに検討した「大賞のロゴ使用に関するガイドライン」について⇒これについては事務局からも事務局報告資料に基づいた補足（「井村屋（入選者）」の例）があった。
- ③ 次回のコンペティションの検討事項についての案内⇒「学生賞の新設」に関しては、コンペ委員だけの対応では厳しいという意見が委員会できているとのコメントあり。

<出席者からの意見・質問>

- ・ガイドラインを作るのは時間がかかるのでは？（伊藤理事長）
- ・すでにコンペ委員会で作成しているが、サイズ等による具体的な指示までには至っていない。（竹内理事）
- ・Gマークの使用にあたってはかなり厳しい基準がある。（梅原理事）
- ・これは今後のJPDAにとって重要なことだと思う。（江藤理事）
- ・できればロゴ等を活用していただくのは良いことだと思うので、贈賞式で案内してはどうか。委員会で検討してほしい。（伊藤理事長）⇒コンペティション委員会検討事項

●アーカイブ

- ・青木（入江）理事より、資料に基づき、HPにアップした「声のアーカイブ」コーナーの報告と2月下旬に予定している第1回トークショーについての案内等があった。トークショーは1999年に「キッコマンしょうゆ瓶」で金賞を受賞した(株)GKグラフィックスの佐藤氏と木村氏をパネラーに予定しているとのこと。

●インターネット

- ・中越理事より、資料に基づき、JPDAサイトの更新状況、今後の更新予定、2019年以降に向けて委員会で議論していることについての報告があった。

●調査研究

- ・中越理事より、資料に基づき、学会（日本感性学会、日本デザイン学会）との関わりについて、及び、2018年度（2019年3月半ば）に東京都内での開催を予定している研究会についての報告があった。研究会については1月の理事会で概要を案内する予定。

●教育

- ・南谷事務局員より口頭で、10/29・30で開催したワークショップ（パッケージの未来を考えてみる）についての報告があった。参加者は20名。広告業界で高名なお二人の講師のリードで、4名×5テーブルのグループワークを行い、参加者からも高評価を得たワークショップだった。詳細は1月の理事会で永田理事から収支を含めた報告がある予定。

●国際交流

- ・森理事より、資料に基づき、2019年2月10～17日に予定している海外視察（インドネシア・シンガポール）についての状況報告があった。

- ・今回初めて早割を採用した結果、現時点で19名（目標20名）の申込みをいただいている。まだ申し込まれていない方も積極的に申込みをお願いしたいとのコメントあり。

●アスパック

- ・渡邊事務局長より、スケジュール表をもとに12月3～7日のアスパックウィークについての案内があった。

第7号議案 2019年のアスパック協会との関わりについて

- ・渡邊事務局長より、資料に基づき、2019年のアスパック事業との関わりについて、伊藤理事長からアスパック協会会長フミ・ササダ氏にJPDAの考え方を述べるレターを送ることを確認した。⇒11/19に出状済

内容は、アスパック協会として2019年も継続するのかどうかを明確に案内してほしいこと、また、その場合のJPDAとしてお願いしたい条件について述べたものとなる。

<これに関連するJPDA学生賞についての議論>

- ・今アスパックは毎年コンペを実施しているが、JPDA大賞は2年に一度となっている。学生にとっては毎年の方がありがたいが、JPDAではそれはできないのだろうか？

(藤田理事)

- ・今コンペ委員会では学生賞を検討するだけでも大変であり、それを毎年実施するというのは現状ではまず不可能だと思う。(伊藤理事長、竹内理事、渡邊事務局長)
- ・現状でJPDAでの毎年実施ができないのならば、ビエンナーレであることをはっきりと打ち出せばよいのではないか。(梅原理事)
- ・アスパックの事業についてはJPDAのマンパワーがかなり割かれていることは事実であり、JPDAにとってどういうメリットがあるのかを考えていかなければならないと思う。学生賞にしても、学生のコンペだからJPDAのコンペ委員会が検討するというのではなく、例えば教育の方で考えるということもできるのではないか。(時田監事)
- ・JPDAの学生賞は映像による一次審査を同時に考えなければならないということからコンペ委員会に検討をお願いした。これは単に学生のコンペをどうするかを考えるということだけではなく、システム開発が必要となることなので、コンペ委員会を中心に検討していただく必要があると考えている。(伊藤理事長)
- ・いずれにしろ、JPDAの学生賞を検討することはいいと思うが、まず2019年にアスパックの事業が継続されるのかをはっきりさせる方が先決だと思う。(井上副理事長)

第8号議案 JPDA60周年記念特別セミナーについての経過報告 (小川 亮理事)

- 小川亮理事より、資料に基づき、前回の理事会で提案したJPDAデザイン学校の設立を視野に入れた「JPDA60周年記念特別セミナー」について、現在までの検討状況の報告と二つ

の提案があった。

- ・前回の理事会でのご指摘を受け、このセミナーのターゲットはデザイナーではなく、官僚・発注者に置いて、比較的大企業よりのものに手作り感を加えた内容として、2020年4月スタートを目標に進めていきたいと考えている。
- ・加藤専務理事のアドバイスもいただき、まだ本当に仮のものだが、28コマの内容（A3資料）を考えている。役員の方にこれはというアイデアがあれば教えていただきたい。
- ・今日提案したいことは以下の二つ。
一つ目は12月あるいは来年の1月に、このセミナーの内容検討・運営をお願いするメンバーの募集を行いたいこと。
二つ目は将来的な学校設立を踏まえて校長を置きたいが、現在いろいろとアドバイスをいただいている加藤専務理事に校長をお願いしたいこと。
⇒この2点は理事会で了承された。

<出席者からの意見・質問>

- ・28回ということは約2ヶ月になるが受講者にとってはヘビーな日程ではないか。また、「28」というのは何か意味があるのか？（伊藤理事長）
- ・1日の午前・午後の両方を使って、8日間・28コマになるように考えている。また、3月くらいまでに全体像がわかるパンフレットを作って、地方を含めたターゲットになりそうなところにヒアリングを行い、それを反映させた上で最終のカリキュラムにしていきたいと考えている。
また「28」は特別な意味はないが、「素材」、「包装」、「文化と歴史」、「クリエイティブ」、「ディレクション」などの大項目（60周年関係者で抽出）それぞれのコマ数を考えていった結果「28」になった。但し、これはあくまでもタタキ台であって、最終形ではない。
（小川亮理事）
- ・始めの方に「パッケージの役割」などの内容を入れた方がよいと思う。（中越理事）
- ・メンバーとして何をお手伝いするのがよくわからない。また、メンバーに何かメリットはあるのか？セミナーの受講費用は高いと思うので、例えば、聴講したいところだけ安く聞けるようなメリットがあると良いが・・・。（小川裕子理事）
- ・お手伝いいただくことは、段階的に、2019年：「カリキュラム等の企画」、「準備」（営業・PR活動etc.）、2020年：「実行・運営」となるが、その全てに関わっていただきたいと考えている。
また、メンバーの方々には運営のお手伝いをしながら、セミナーを聴講するというのではなくて、インセンティブとして聴講できるようなポイントを付与することも考えたい。
（セミナー全体の受講料は20万円程度）（小川亮理事）
- ・学校の話は、今ある活動を整理してからと思っていたが、現状を変えずにスタートした

いというのであれば無理に否定もできないし、お手伝いしてもよいかなど思っている。

(小川裕子理事)

- ・前回も申し上げたが、いろいろな業界が変化の時代に入っている今、何か未来志向の話が聞ける(「グランドデザインの方向性を語る」等)内容が良いと思う。(江藤理事)
- ・ターゲットは一番デザインを理解していない国会議員などの政治家=行政にしぼってしまうというのはどうだろうか。また、内容も60周年でデザイナーが企画するのだから、何かユーモアのあるものにした方が面白いと思うが・・・。
例えば「デザイナーの意見を丸呑みにしないためのセミナー」をコンセプトにするとか・・・。(梅原理事)
- ・もう少し目的がはっきり見えると良いと思う。例えば、「デザイナーのためのセミナー」というよりも「上の役職の人たちにデザイナーの価値を上げるためのセミナー」のように。(牛島理事)
- ・60周年をテーマにするのであれば、このような総花的な内容ではなく、課題解決に役立つような、よりエッジを立たせたものにした方がよいと思う。(桑理事)
- ・いただいたご意見を参考に、将来的な学校設立も視野に入れ、ターゲットを含めて、どこを立たせるのかはメンバーと一緒にこれから検討していきたい。(小川亮理事)

第9号議案 事務局報告

●渡邊事務局長から、以下の報告があった。

1. 会員移動状況について

- ・資料に基づき、連絡のとれない2名の会員を退会としたいという報告を行ったが、そのうちの小野太士氏については、鈴木理事より「これからもJPDAの会員を続けるかどうか」を確認していただくことをお願いした。

2. 2019(平成31)年度事業計画・予算案作成について

- ・2019年度予算立案スケジュールを説明しつつ、次年度(2019年)予算案を12月25日(火)までに事務局宛て提出いただくよう、各委員会の担当理事に依頼した。

⇒翌日11/15に、提出いただく予算表を担当理事までメールで送付済

3. 大賞コンペ～巡回展までの流れ

- ・前回の理事会で議論になった大賞コンペ～贈賞式～年鑑発刊～巡回展という流れの中で、関係する委員会の主な業務と全体の流れを紹介した。
また、大賞コンペは巡回展までの時間面、費用面、全体のマンパワーでJPDAの事業の中でも大変重要な事業であると認識しているので、外部への広報的な発信手段も検討するとともに、いろいろな場面で活用できるJPDA大賞について案内するパネルと入賞作品の映像パネルの制作も考えていきたい。

4. JPDA大賞2019の入賞者・入選者からの問い合わせについて
 - ・コンペ委員会からの報告時に問い合わせ状況を案内するとともに、井村屋からのロゴ使用についての例を紹介した。
5. 2019年度会員名簿と年賀状について
 - ・会員名簿は使っていない会員が多いと思われるが、役に立つ資料として常時使用している会員も散見されるので、2019年度はJPDAの活動方針を入れた年賀状（通常よりも大きめのサイズ）を同封して、年内中に出状できるよう（例年通りの年初着で）制作を進めている。
 - 因みに、会員以外の関連団体等へは、年賀状のみを送ることとする。
6. 内閣府への2017（平成29）年度決算報告について
 - ・10月17日に内閣府からの指摘事項について修正報告を行い、昨日11/13時点で審査済となっている。
7. 東京パックの来場者数について
 - ・10/2～5の4日間で209,049人の入場者があり、同種の展示会と比較しても入場者が多い展示会である。今後も注視していきたい。
8. 2018年度事業カレンダーについて（議案書資料を参照）

第10号議案 次回理事会開催の件

日時：平成31年1月24日（木）午後1時30分～6時30分※

場所：文京シビックセンター（区民会議室） 5階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

※議題の進行によっては延長の可能性があります。

第11号議案 デザインを強くする協会活動についてのディスカッション（ワークショップ）

●井上副理事長の司会で、第2回目のワークショップを行った。

- ・始めに、総務委員会担当理事の井上副理事長より、オリエンテーション資料（パワーポイント：別紙として添付）に従い、1月理事会での第3回打合せまでのスケジュールが案内された後、今回の内容についての説明があった。
- ・1回目では社会・教育界・業界・会員それぞれの視点から「各委員会の活動の現状を知る＝現在のJPDAの活動と役割を確認する」ことをグループ毎にまとめていただいた。
- ・2回目の今回は「俯瞰的な視点で『未来のJPDA』を考える」ことをテーマに、参加者全員で以下の二つのタスクを行った。
 - ① タスク1：JPDAにとって重要な役割や価値の中でとくに重要と思うものをグループ毎に3つを選択して発表する。

- ② タスク 2 : 「社会ニーズは何か?」、「それに対してどのような視点で協会活動を推進するか?」、「具体的には何を実行するか?」、「それによって他の関連団体とは異なり、社会にどのような価値を提供していくのか」という 4 つの穴埋め問題を、一人一人が考え、発表した。
- ・ 次回 1 月の理事会が 3 回目となるが、1 回・2 回目の議論をもとに、総務委員会としてのまとめを発表したいと考えている。

以 上